

西宮市会報告

No.134

2025年
春号

日本共産党



庄本けんじ

● 団長
● 教育こども常任委員

野口あけみ

● 幹事長
● 議会運営委員
● 総務常任委員

三好さつき

● 健康福祉常任委員
● 広報委員会副委員長発行●日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号(西宮市役所内)
Eメール:nmc30547@nishi.or.jp TEL:0798-35-3368 FAX:0798-22-7815 ホームページ:http://nishinomiya.jcp-giin.net/

困った時は

日本共産党

ご相談は
お気軽に ☎ 0798-35-3368

願い実現へ

市政の
根本的転換を求め

当初予算にも修正予算にも反対！



反対討論に立つ庄本けんじ議員

3月21日まで開催の3月市議会では、2025年度一般会計予算案(2200億円規模)が自民、維新、保守系会派も含む反対多数で否決されました。市政施行100周年を迎えた西宮市にとっては、初めての事です。当局は、この事態を受けて、3月26日に臨時議会を招集し修正予算を提案、賛成多数で可決されました。

修正予算案は、「財政構造改善実施計画」は何ら変わることなく実行される内容で、さらに養育費確保のための費用補助などが削除され、施策にブレーキがかけられることになりました。

日本共産党西宮市会議員団は、住民要求実現の立場を貫き、どちらの予算案にも反対しました。

市民サービス切り捨てに反対

日本共産党市会議員団



市が提案した当初予算案は、「財政構造改善実施計画」を中心に据えた予算です。この実施計画は、すでに2024年度から取り組まれているものも含め、歳入で22項目、歳出で120項目にも及ぶ、高齢者やひとり親家庭の医療費助成制度改悪(障害者の同制度見直しは撤回、囲み記事参照)、後期高齢者医療人間ドック受診費用助成の見直し、施設使用料値上げ等々の、市民負担増とサービスの削減の計画です。

国民健康保険料の値上げも強行されました。国民健康保険の加入者は零細業者や年金生活者など低所得者が多いこと、家族の人数が増えれば負担が増える「人头税」ともいえる仕組みとなっていることなどから、構造的欠陥があるといわれています。少なくとも、こうした欠陥を補う減免制度を導入する必

要があります。

また、西宮市が抱える深刻極まりない保育所の待機児童対策は、まったくのおざなりです。

ところが一方で、「お金がない」と言いながら、「まちづくりへの投資に資する事業は厳選して実施する」として、40階を超える超高層のタワーマンション建設(民間)や図書館移転(市)を含む阪神西宮駅北側地区の開発、急ぐ必要のない阪急武庫川新駅、さらには、市税を投入するいわれのない山口南幹線道路の拡幅事業など、不要不急の投資的事業を次々と進めようというのです。

このような予算に賛成するわけにはいかないと、党議員団は反対しました。

維新や保守系会派は…

維新の会、会派・ぜんしん、啓誠会、元維新の無所属議員は、「市は『財政危機』について認識が甘く、これまで指摘してきたのに漫然と放置し、今になって市民サービス削減とは何事か?」と主張、予算案に反対しました。

そして、そのことを前面に押し立てながら、まずは「身を切る改革」なるものとして、一般職員給与の削減、議員定数の削減(41名→40名)を提案し、賛成多数で可決されました。

当初予算案に反対したこれら会派の意見・要望が修正案に取り入れられ、賛成多数で可決されましたが、予算の中心に据えられている「財政構造改善実施計画」は、何ら変わることなく、しかも当初案に含まれていた、二つの市民要求にかなった施策＝「養育費確保のための強制執行申し立てにかかる費用補助」、「宮っ子つながり支える条例」においてこどもの人権のための公的第三者機関の設置も取り下げられました。

福祉
削るな!!財政構造改善計画にパブコ×1500件
一部修正へ

市の「財政構造改善実施計画」素案に対する市民意見募集(パブコメ)が昨年末実施され、675人から1510件の意見が寄せられました。パブコメの大半が福祉削るな!という声や阪神西宮駅北再整備事業など投資的事業に対する批判でした。

福祉施策の見直しは他市より突出した市の取組を削るというもの。これには市民生活への影響を懸念する意見が議会からも多く出され、一部修正・先送りとなりました。

素案からの修正

- 水道料金下水道使用料福祉減免制度の見直し
→27年度から福祉給付金という形で実施するなど収入要件を付した新たな制度に移行を検討(対象者は約半分を想定)
- 医療費助成制度の見直し(障害者)→計画から削除
- 医療費助成制度の見直し(高齢期移行、母子家庭等)
→見直しの時期を25年7月から26年7月へ後送り
- はり・きゅう・マッサージ施術費補助の見直し
→26年度から毎年1歳ずつ対象年齢を引き上げ、段階的に75歳からの助成へと移行



声を上げた市民の力が証明されました。今後も「福祉削るな」投資事業こそ見直せ」と声を上げていきましょう!



JR甲子園口駅北側 一日も早い整備を！

野口あけみ

JR甲子園口駅北の景観や安全性を大きく損なっている老朽建物が空家となって約2年。2023年8月には周辺2連合町内会等から市に要望書が提出され、昨年末の「財政構造改善実施計画」のパブリックコメントでも改善を求める多数の意見が寄せられました。

野口あけみ議員は、老朽建物への市の指導状況と、市が同駅前整備について一定の方針を示すべきと質問。市は、放置すれば建物の倒壊等で通行者等に重大な危害を与える恐れもあるため、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づいて指導中であると答弁。

また、事業手法が決まっていない中で当該地を取得する等は困難としながらも、「地域の皆様からの要望も踏まえ、土地所有者から今後の土地利用の考えを聞くなどし、市として何らかの対応ができないか検討したい」と、従来より一歩ふみこんだ答弁でした。

図書館への指定管理者制度導入反対

また野口議員は、公民館と併設の北部図書館、山口分室、越木岩分室に指定管理者制度を導入しようとする議案について、図書館には、「政治的中立性」とともに、「専門性」、「安定性・継続性」の確保が必要だが、同制度ではこれらは保証されないと質問。議案は賛成多数で可決されましたが、全国では同制度導入後に直営に戻した図書館もあり、市も検討すべきと求めました。

職員給与削減の一方で

議員報酬“削減”に反対 議員ボーナスアップ

職員給与については「財政危機」の最大要因だとして、削減・抑制に熱心な多数会派ですが、一方、議員報酬についてはまったく手を付けようとしないうちも浮き彫りとなりました。

2024年度は、賛成多数の議決で、議員報酬を5%削減してきました。党議員団は、議会運営委員会で2025年度も引き続き5%削減することを提案しましたが、維新の会以外の反対で実現しませんでした。また、3月議会には国家公務員特別職の人事院勧告に基づく期末手当（ボーナス）増額にあわせて議員のボーナス増額が提案され、党議員団と維新の会以外の賛成（1議員は退場）で可決されました。



介護事業所の 実態調査と支援金支給を

三好さつき

2000年に「介護の社会化」として介護保険制度が創設され、今年で25年目。3年毎の報酬改定の度に介護保険料は増え続け、一方、国が制度の改悪や介護報酬削減を連続して行ってきた結果、必要なサービスを受けられないなど制度の崩壊が起きています。

三好さつき議員は、24年度の報酬改定でコロナ禍でも在宅療養を支えてきた訪問介護の報酬が引き下げられたことに関して質問。市内の介護従事者らが訪問介護事業所に経営状況などのアンケートを行った結果、9割以上が減収と答え、日々、倒産や休止の心配をしながら運営していることがわかりました。三好議員は、早急に実態調査を行い状況を把握して減収の補てんを行うよう市に求めましたが、市は、国の調査結果を参考にするとし、支援金については財政難のため対応できないと、冷たい答弁でした。

はり・きゅう・マッサージ補助 現行制度の継続を

現在のはり・きゅう・マッサージ補助事業は、市内在住の70歳以上を対象にはり・きゅう・マッサージ指定施術所で使用できる1回1000円の補助券5回分を交付するものです。市民らの運動で昭和58年から開始されたこの事業が今回の財政構造改善実施計画の見直し対象（1面囲み記事参照）となり、パブコメでは280件もの継続を希望する意見が寄せられました。

近畿圏では対象を65～70歳以上とし、回数は12回という施策が多くみられ、市のいう「突出した事業」でないことは明らかです。三好議員は、予防効果・健康維持の効果があるはり・きゅう・マッサージ補助事業の現行年齢要件維持を求めました。市は対象者増加の見込みから、年齢引き上げを行うと、これについても冷たい答弁でした。

学校部活動の地域移行 内容知らせず強行の構え

政府は2026年から、土日の中学校部活動を地域に移行するよう求めてきています。西宮市もその準備を始めており、その告知が、西宮市政ニュース1月25日号に掲載されています。しかし、その内容の説明が議会に正式に行われたのは、3月6日開催の教育こども常任委員会においてでした。

学校部活動の地域移行は、子どもたちのスポーツ、文化活動のありかたを歴史的に激変させる取り組みです。参加する権利が制限されることになりかねないたくさんの問題・課題が山積しており、その課題もまとまった形で整理されていないのが現状です。拙速に進めず、子どもや保護者、専門家のみならず市民全体の議論が必要です。



3月議会 請願一覧

○…採択を主張 ×…不採択を主張 ※…可否同数で議長採決による

	共産	維新	公明	ぜんしん	市民クラブ	啓誠会	一色議員	佐野議員	村上議員	森議員	よつや議員	結果
「日本政府は核兵器禁止条約への署名・批准を」意見書提出を求める請願	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○	不採択※
「市内介護事業所の実態調査と対策」を求める請願	○	×	×	×	退場	×	○	○	○	×	○	不採択
「国に訪問介護事業所基本報酬引き下げ撤回、引き上げを求める」意見書提出を求める請願	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	不採択